

安全データシート

1. 化学品等及び会社情報

製品名 :20241009E
供給者名 :三商株式会社
住所 :愛知県名古屋市東区葵三丁目 25 番 32 号
担当部署 :マテリアル事業部開発課
電話番号 :TEL 0568-89-5507 FAX 0568-89-5509
推奨用途及び使用上の制限 : 建築用モルタル、建築用塗料

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (気道刺激性)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 (呼吸器)

分類実施日 政府向け GHS 分類ガイダンス (H25 年度改定版 (ver1.1):
(環境有害性) JIS Z7252:2014 準拠) を使用

環境に対する有害性	水生環境有害性 (急性)	分類実施中
	水生環境有害性 (長期間)	分類実施中

注) 上記の GHS 分類で区分の記載がない危険有害性項目については、政府向けガイダンス文書で規定された「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」に該当する。なお、健康有害性については後述の 11 項に、「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」の記述がある。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

呼吸器への刺激のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害

注意書き

安全対策

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取扱後はよく手を洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。



保管

廃棄

他の危険有害性

作成日 2024 年 10 月 7 日

気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。
内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物
処理業者に依頼して廃棄すること。
データなし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

非公開

(アスベストを含まず、結晶性シリカ < 1%)

別名

データなし

濃度又は濃度範囲

100%

分子式 (分子量)

特定できない

化学特性

特定できない

(示性式又は構造式)

CAS 番号

65997-15-1

官報公示整理番号

データなし

(化審法)

官報公示整理番号

データなし

(安衛法)

分類に寄与する不純物及び

データなし

安定化添加物

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

大量の水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で 15～20 分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレン
ズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も
洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。

急性症状及び遅発性症状の

データなし

最も重要な徴候症状

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

データなし

5. 火災時の措置

消火剤

周辺の火災時：すべての消火薬剤の使用可

使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

特有の危険有害性

火災等の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。

消火を行う者の保護

消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 及び緊急措置

呼吸器への刺激のおそれ
関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」
の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
個人用保護具：P1 不活性粒子用フィルター付マスク。
周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中へ
の流出を避ける。
下水に流してはならない。

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材

飛散した物を掃き集めるか、真空掃除機で吸引する等でき
るだけ飛散発じんしないようにして、空容器等に回収する。
取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必
要に応じて保護具を着用する。

安全取扱い注意事項

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。
粉じんを発生させないようにする。
作業環境管理を厳密に。

接触回避

酸、アルミニウム、金属、アンモニウム塩。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

保管 安全な保管条件

保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために
必要な照明及び換気の設備を設ける。
直射日光を避け、冷暗所に保管する。
水と徐々に反応して硬化した水和物を形成、熱を発生し、
強アルカリ溶液を精製する。
乾燥した場所に貯蔵する。
破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。
容器を密閉しておくこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

日本産衛学会
(2015 年度版)
ACGIH (2015 年版)

(吸入性粉じん) 1 mg/m³
(総粉じん) 4 mg/m³
TLV-TWA: 1 mg/m³ R

設備対策

粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。

保護具 呼吸用保護具

粉じんが発生する場合、必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

手に接触する恐れがある場合、保護手袋を着用する。

眼の保護具

眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状

固体 (20℃、1 気圧) (GHS 判定)

色

明るい灰色～白色 (ICSC (2001))

臭い

データなし

臭いのしきい (閾) 値

データなし

pH

データなし

融点・凝固点

> 1000℃ (ICSC (2001))

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

引火点

不燃性 (ICSC (2001))

蒸発速度 (酢酸ブチル=1)

データなし

燃焼性 (固体、気体)

データなし

燃焼又は爆発範囲

データなし

蒸気圧

データなし

蒸気密度

データなし

比重 (相対密度)

データなし

溶解度

データなし

n-オクタノール／水分配係数

データなし

自然発火温度

不燃性 (ICSC (2001))

分解温度

データなし

粘度 (粘性率)

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

不燃性

化学的安定性

データなし

危険有害反応可能性

酸、アルミニウム、金属、アンモニウム塩と反応する。
水と徐々に反応して硬化した水和物を形成、熱を発生し、
強アルカリ溶液を生成する。

避けるべき条件

水及び湿気を避ける。

危険有害な分解生成物

酸、アルミニウム、金属、アンモニウム塩と反応する。
水と徐々に反応して硬化した水和物を形成、熱を発生し、
データなし

1 1. 有害性情報

急性毒性	経口	GHS 分類: 分類できない データ不足のため分類できない。
	経皮	GHS 分類: 分類できない データ不足のため分類できない。
	吸入：ガス	GHS 分類: 分類対象外 GHS の定義における固体であり、分類対象外。
	吸入：蒸気	GHS 分類: 分類対象外 GHS の定義における固体であり、分類対象外。
	吸入：粉じん 及びミスト	GHS 分類: 分類できない データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		GHS 分類: 分類できない データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性		GHS 分類: 分類できない データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性		GHS 分類: 分類できない データ不足のため分類できない。
皮膚感作性		GHS 分類: 分類できない データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		GHS 分類: 分類できない データ不足のため分類できない。
発がん性		GHS 分類: 分類できない 本項はデータ不足のため「分類できない」とした。
生殖毒性		GHS 分類: 分類できない データ不足ため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）		GHS 分類: 区分 3 (気道刺激性) 本物質は気道刺激性があるとの報告がある (ACGIH (7th, 2010)) が、その他の情報はない。 以上より、「区分 3 (気道刺激性)」とした。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）		GHS 分類: 区分 1 (呼吸器) 吸入経路では、ヒトにおいて良性の塵肺症を生じ、気管支炎、呼吸困難、咳、痰、肺気腫、胸痛 がみられるとの報告がある (ACGIH (7th, 2010)、DFGOT vol. 11 (1998))。実験動物についての有用な情報はない。 したがって、呼吸器が標的臓器と考えられ、ヒトにおいてみられていることから「区分 1 (呼吸器)」とした。
吸引性呼吸器有害性		GHS 分類: 分類できない

データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

生態毒性 水生環境有害性（急性） 分類実施中

水生環境有害性（長期間） 分類実施中

オゾン層への有害性 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

該当の有無は製品によっても異なる場合がある。法規に則った試験の情報と、12 項の環境影響情報とに基づいて、修正が必要な場合がある。

国際規制

国連番号	-
国連品名	-
国連危険有害性クラス	-
副次危険	-
容器等級	-
海洋汚染物質	該当しない
MARPOL73/78 附属書 II 及び	該当しない
IBC コードによるばら積み輸	
送される液体物質	

国内規制

海上規制情報 船舶安全法に従う。

航空規制情報 航空法に従う。

陸上規制情報 消防法、道路法に従う。

特別安全対策

移送時にイエローカードの保持が必要。

容器の破損、漏れがないことを確かめる。

荷崩れ防止を確実に行う。

該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。

直射日光を避ける。

漏出時の処置を参照。

水濡れ厳禁。

乾燥を保つ。
周辺環境への流出に留意する。
容器の密閉を維持する。
乾燥を保つ。

緊急時応急措置指針番号

-

1 5. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認してください。

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険有害物（法第 57 条、施行令第 18 条別表第 9）

名称等を通知すべき危険有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9）

リスクアセスメントを実施すべき危険有害物（法第 57 条の 3）

1 6. その他の情報

参考文献

各データ毎に記載した。

[注意] 本 SDS は JIS Z7253:2012 に準拠して作成しています。